

## 柏尾川（神奈川県横浜市戸塚区）

私の実家である神奈川県横浜市戸塚区には、柏尾川という川が流れている。この川は、沿岸両側にソメイヨシノが植えられ、春になると長く美しい桜並木となる。川幅は場所にもよるが、おおよそ10m前後、水質としては、水底が明瞭に見えるほどではないものの、ぼんやりと底を覗く程度に澄んでおり、たまに鯉などの魚の姿も見受けられ



る。兩岸には前述した桜を含め、下草のような植物も生えているが、どこもコンクリートで舗装されており、小石や土など自然な状態での岸边はほとんど見られない。

この柏尾川は近所でも有名な桜の名所で、私も子供の頃に何度か家族と一緒に花見の散歩に出かけたことがある。普段はそこまで人通りのない川岸の道が、見頃になるとなかなかの人出で混み合っ、驚いた記憶がある。家から歩けるほどの距離ではないので、夏場に川に入って遊んだというようなことはなかったが、桜というと頭の中に一緒に柏尾川が浮かんでくるというほどに、強く印象に残っている場所である。また、下流いくとこの川は大船駅の前も通っており、祖父母の家に遊びに行く時などには、いつも車や電車の窓からこの川を越えるのを眺めていた。

父方の実家も柏尾川に近いので、以前の様子を聞いてみたところ、桜は昔から植えられており、川もそこまで大きな変化はないらしい。また、最近はそうでもないが、父が子供だった頃には、大雨が降ると氾濫することも度々あり、祖父と祖母で雨がひどかった時に様子を確かしにわざわざ出かけたこともあったそうである。

インターネットで柏尾川について調べてみたところ、区役所のサイトなども含めていく

つか出てきた。それによれば、柏尾川は横浜市戸塚区柏尾町を流れる阿久和川と平戸永谷川の合流地点から始まり、藤沢市を流れる境川に合流するまで続く 11 k m の長さを持つ川で、横浜市内では流域面積 2 番目を誇っている(横浜市)。その歴史は、中世に始まっており、上杉謙信の祖先である長尾氏が建てた長尾城や小田原北条氏が建てた玉縄城などの外堀として使われたり、周辺の水田用水として利用されており、渇水期には、柏尾川の水を巡って争いが起きたこともあるらしい(神奈川県)。岸辺の桜並木の歴史は、江戸時代の安政の頃にまでさかのぼり、大正から昭和初期には桜の名所として知られ、栄えた時には、茶屋が 50 軒近くも連なっていたという。ただこの並木も昔からずっとあったわけではなく、明治時代には枯れ果ててしまったり、昭和 19 年に燃料や木材とするために伐採されたりしたこともあったという。だが周りの住民からの声により何度も植樹が繰り返され、現在の形に至っている。「桜まつり」と呼ばれる祭りが 4 月に催されるようになったのは昭和 30 年からで、それからは伐採されることもなく、現在も植え替えをするなどして柏尾川共々大切にされている。ちなみに川の氾濫が起き始めたのは昭和 30 年頃で、流域の開発によるものと思われる。昭和 50 年代に入ると、河川の整備が行われ始め、氾濫はおさまってきたようだ。

この川は桜と共に近隣の住民から愛されてきていると私は思う。もちろん氾濫しないために人の手を加えてはいるが、それは柏尾川を大切にしているからであって、決して川をなくそうとしてのことではない。それは有志のボランティア団体によって川岸の草刈りが行われていることなどからも伺えるだろう(柏尾川)。これからも同じように近所に住む人々から慕われる川であってほしいと思うし、私自信数年後に訪れても変わらない川の姿を見られたらと願っている。



〈参考資料；柏尾川と岸の桜並木〉

#### 参考文献

柏尾川・葦の会 『柏尾川・葦の会』

〈<http://yoshinokai.hp.infoseek.co.jp/>〉

神奈川県 『二級河川 柏尾川』

〈<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/07/1913/fujido/kashio.htm>〉

横浜市 『柏尾川の桜並木』

〈<http://www.city.yokohama.jp/me/totsuka/kusei/kashio-new.html>〉